

質疑応答の状況（要旨）

質 問 ・ 意 見	回 答
<p><b>抽出案件について</b></p> <p><b>1 松ヶ浦池地区松ヶ浦池改修その4工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1者応札となった案件であり、入札参加資格にため池の工事実績を求めているが、参加可能な業者数は何社を想定していたのか。</li> <li>・28社のうち1社しか応札していないが、手間のかかる工事である等の理由があるのか。</li> </ul> <p><b>2 (道路メンテナンス事業) 国道377号(綾上橋) 道路整備工事 (第1工区)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の工事より落札率が低い、問題はないのか。</li> <li>・低入札調査基準価格ギリギリの入札金額であるが、業者側は高い精度で計算できるのか。</li> </ul> <p><b>3 寺町地区排水機補修その4工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1者応札となっているが、応札者は、当初排水機を設置した業者か。</li> <li>・当初設置した業者は入札には不参加とのことだが、参加資格はあったのか。</li> <li>・応札者数が少ない原因はどう考えているのか。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鋼材等の高騰に対する予定価格や積算単価の見直し状況については、どう考えているのか。</li> <li>・本件の工種は機械器具設置工事であるが、同種工事においては、過去から1者応札が続いているが、どのように原因分析しているのか。</li> <li>・1者応札で落札率も高い。同じ場所で別発注する工事の契約者が入札に参加できないことで、さらに入札者が絞られているのではないのか。工期や工事の分割の仕方でも工夫の余地はなかったのか。</li> </ul> <p><b>4 長道維第10号 県道徳島引田線外15線 道路維持修繕工事 (除草工)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指名業者8社のうち応札者は3社であり、残り5社は入札に参加していない。本件工事は、人件費の占める割合が大きく材料高騰の影響はあまり関係がないように思うが、人件費だけでも厳しい状態であるのか。</li> <li>・人件費も含めて、すべての工事の価格が上昇しており、工事発注側も業者の状況を勘案しながら、発注価格や単価の短期改定等を行ってほしい。</li> </ul> <p><b>5 香東川総合開発事業 柘川ダム 付替市道建設工事 (交通安全) (西岸線第5工区)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内のAランク業者40社のうち、ため池の施工実績のある28社が参加可能。</li> <li>・農業用水確保を目的としたため池であり、4～10月の稲作期間終了後に工事を行うこととなるが、昨今の水不足により、早く水を貯めたいという農家の要望もあり、工期に関わらず早期の完了を期待されるなどの事情から、業者からは敬遠されたものと推測している。</li> <li>・低入札調査基準価格を上回っており、工事としては問題なく施工できる金額と考えている。</li> <li>・低入札調査基準価格そのものは事後公表だが、計算式や材料単価、積算に係る歩掛り等は事前公表しており、県と同様の積算をすれば近い数字は出るものと考えている。</li> <li>・当初設置した業者とは別の業者である。</li> <li>・参加資格はあった。</li> <li>・落札業者に聞き取りをした結果、①県が同じ場所で別ポンプの補修工事を発注しているため、現場が競合し作業効率が落ちること②鋼材等の単価が上がっていること③当初想定していないポンプの補修が生じた場合、県との協議や変更手続きが負担となることなどの意見があり、同様の理由で他の業者は入札を見送ったものと考えている。</li> <li>・3～4か月に1回は積算単価を改定しているが、単価の上昇が早く進んでいる状況である。また、契約時より一定割合以上単価が上がった場合は、積算単価の改定により、契約金額を増額することとしている。</li> <li>・機械器具設置工事は、近年はポンプの更新工事が多く、既設ポンプの分解・解体・製作・組立という一連の業務となるため、手間がかかることもあり、入札への参加が避けられる傾向にあると考えている。</li> <li>・現場となる排水機場では、出水期は3台のポンプ全てを稼働するため、出水期以外での工事となる。出水期以外であっても1台は動かせる体制が必要であり、効率的かつ多くの業者に受注機会を与えるため、今回のような方法で分割発注している。</li> <li>・人件費の高騰による影響もあると思うが、夏前に一気に伸びた草を一斉に刈るため、それに人員を割くことができる業者が応札していると考えられる。</li> </ul>